

平成 25 年 6 月 7 日

統計データにおける API 機能の試行運用開始 ー統計におけるオープンデータの高度化ー

総務省は、統計データの高度利用環境の構築のため、平成 25 年 6 月 10 日(月)午前 10 時から、統計データにおける API 機能の導入による試行運用を開始します。これは、オープンデータ推進のトップランナーとして政府の取組を先導するものです。

- 総務省統計局は、平成 25 年 5 月 28 日付け報道資料（参考 1）のとおり、統計におけるオープンデータの高度化を進めることとしており、今般、このうち API 機能の導入について、独立行政法人統計センターが運用する「次世代統計利用システム」上で、6 月 10 日午前 10 時から試行運用を開始することになりました。
 - API 機能の導入により、例えば、①利用者の情報システムに政府統計のポータルサイト（e-Stat）のデータを自動的に反映、②ユーザー保有やインターネット上のデータ等と連動させた高度な統計データ分析などが可能となります。これにより、ビジネス活性化や新規事業の開発促進、行政サービス向上などに貢献できるものと考えております。
 - 今回の試行運用の御利用に当たっては、「次世代統計利用システム」のトップページ（<http://statdb.nstac.go.jp/>）（参考 2）から利用登録をお願いします。なお、御登録に当たっては、利用規約を御確認下さい。
- ※「次世代統計利用システム」のトップページには、統計局ホームページ、統計センターホームページからもアクセス可能です。
- 今回の試行運用で利用可能な統計データは、国勢調査、労働力調査、消費者物価指数、家計調査など総務省統計局所管統計の約 3 万 2 千表のデータです。
 - 総務省としては、今回の試行運用を通じて、機能やシステム負荷等の検証や利用者からの意見等の把握を行い、平成 26 年度中に e-Stat に同機能を整備し、各府省の統計データの利用が可能となる本格運用を目指してまいります。

（連絡先）

【統計におけるオープンデータ政策全般】

統計局統計情報システム課

担当：松下補佐 星野係長

直通 03-5273-1007

FAX 03-3203-8358

【試行運用に係る利用方法等関係】

（独）統計センター 経営企画室

担当：赤谷課長代理

直通 03-5273-1206

FAX 03-5273-1290